

【生薬名】 薏苡仁 *COISIS SEMEN*

【起源植物】 ハトムギ *Coix lachryma-jobi var. ma-yuen*



鳩麦(生)

薏苡仁(生)

【科名】 イネ科 *Gramineae*

【別名】 鳩麦、四国麦しこくむぎ、唐麦とうむぎ、薏苡子一名解蠡

【薬用部分】 殻を去った種子

【主成分】 澱粉、脂肪油、蛋白質、多糖類、ステロメール

【薬性】 気味は甘淡微寒、帰経は脾胃肺に属す

【効能】 ●利水滲湿・清熱・排膿・除痺・建脾止瀉

●いぼ取り、美顔に10～30gを煎服、粥などで食べてもよい

●特に疣には多量に飲むほど効果が上がり、1日1カップを煎じて飲むこともあります

●長服すれば肌を白くして艶やかにします

●漢方では消炎、利尿、健胃、解熱に、また排膿作用がある

●滋養強壮に殻ごと突き砕いて焙じてハトムギ茶として飲む

●関節炎や筋肉痛、リウマチなどに処方される

●肺癌、胃癌、腸癌、子宮頸癌などに用いる

脾虚湿盛の消化器の腫瘍や膿痰を吐く肺癌に常用されている

●漢方では気血を増して体を軽くし、肺をきれいにして肺の腫れ物によいといます

【出典】 ●治筋急拘攣不可屈伸。風濕痺。下氣。久服輕身益氣。其根下三蟲。
(神農本草經上品)

●薏苡仁 味甘、専ら湿痺を除く、筋節拘攣、肺癰、肺痿。(薬性歌)

●主治浮腫也(薬徴)

【備考】 ●ハトムギとジュズダマは大変よく似ている、ハトムギは垂れ下がって結実し、ジュズダマはたったまま結実する、ジュズダマはハトムギの代用として使う

●主として生で用い炒ったものは建脾だけに用いる

【処方例】 ●麻杏薏甘湯、薏苡仁湯、